

花ごよみ 5月

2026年
4月25日
279号

発行：(公財)東京動物園協会 井の頭自然文化園

対馬の植物・花ざかり

ヤマネコ舎まわりは、ツシマヤマネコの生息地である対馬をモデルに植栽しています。
対馬は、日本本土（以下本土）や朝鮮半島と度々陸続きになりながら形成され、対馬固有種に加え本土由来と大陸由来の種が入り混じる独自の植生が見られます。



ヒトツバタゴ



シャリンバイ



トベラ

5月、対馬の海岸近くでは白い花が咲き誇ります。ヒトツバタゴは大陸由来の植物で、対馬の大群落地は天然記念物に指定されています。白い花が海面に映り込む様子から「海照らし」の名で呼ばれています。



ミツバツツジ



キエビネ

対馬にはコバノミツバツツジ（本土共通種）をはじめ3種類のツツジが自生しています。また、対馬はキエビネなどエビネランの仲間が多いことも特徴です。林床にはムサシアブミなどサトイモの仲間もよく見られます。



ムサシアブミ



ツシマヤマネコ

初夏を代表する花々



バラ



シャクナゲ



ホオノキ



フジ



モッコウバラ



コアジサイ



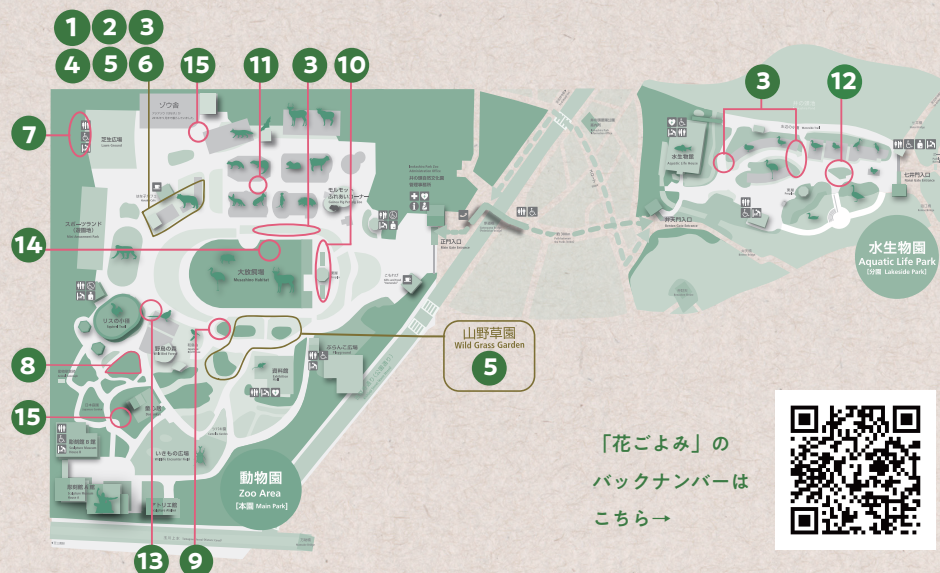
カルミア



ヘニバナトチノキ



ヤマボウシ



「花ごよみ」の
バックナンバーは
こちら→

